



事例3

生活空間の拡大と段差解消

本人家族の希望・要望

(日常生活における不便・不自由な点)

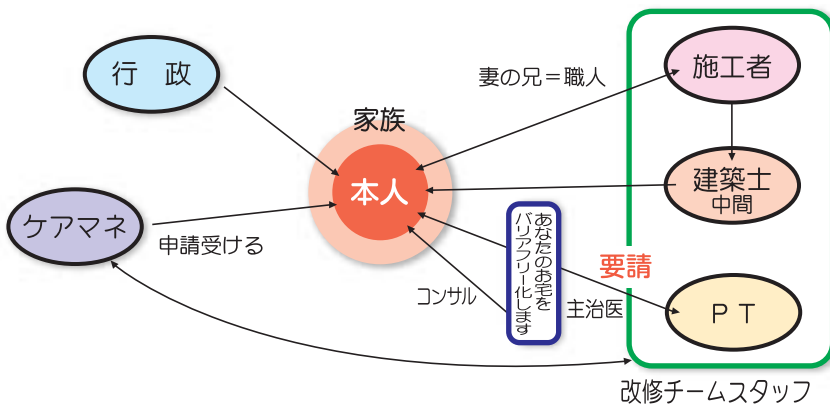
1. 居間を、杖で移動したり、身動きできるスペースを確保する。
2. 現在の浴室での入浴ができるバリアフリー化。
3. 寝室～洗面・脱衣室～トイレ～浴室の移動がスムーズにできる段差解消と手すり取り付け。
4. 将来身体機能が落ちても、料理をすることができるよう、台所もスペースを確保し、キッチンセットも取替える。



これまでの流れ

- 平成5年7月、脳出血を発症したが、実はこのときすでに台所と居間を増築しようと計画しており、本人も張り切っていた矢先のことであった。
- 病気になる前には、トイレを直している。
- 退院してきてからは、本人はリハビリに、妻は介護に必死で、住宅の増築のことなど考える間もなく、いつも狭く不便は感じながらこれまで来た。
- 退院後、自宅での生活を営みながら、年に1回県リハビリ病院で検査を受けたり、定期的に町内の総合病院へ通院し薬の投与を受けている。

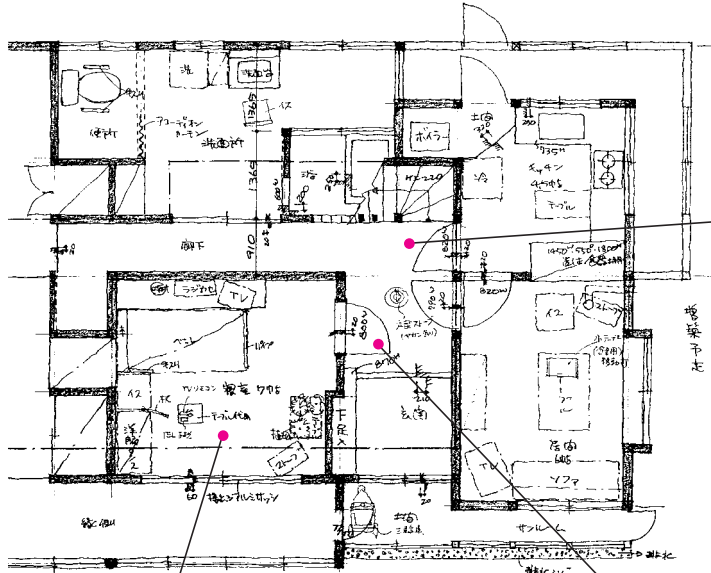
住宅改修チーム



家族をまじえて
改修チームスタッフ打合せ

<p>性別／年齢 男性 67歳 世帯構成 本人夫婦の2人家族 主介護者 妻 住 宅 木造2階建 病 名 脳出血 障害の程度 1級 左上下肢機能のいちじるしい障害 病 歴 平成5年7月 ・脳出血 介 護 度 要介護1 身体及び介 護の状況 左片麻痺ではあるが、リハビリによる指先の曲げ伸ばしが出来つつある。(感覚はない) ・また、半側空間無視や物が2重に見えるため、歩行時は恐怖感がある。 ・妻の状況は昭和63年に大腸の手術を受けており、年1回の定期検診を受けているため、決して安心してはられないが、現在は落ち着いている。 ・左上下肢麻痺はあるが、室内の移動は杖歩行で見守られながら自立、外出時は夏は電動車いすで、冬はタクシーを利用している。 ・日中の排泄はトイレを利用しているが、夜間は尿器使用で一晩に3～4回の排尿回数があり、妻の介助を要する。</p>	<p>自立の状況 (共通の項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●入浴は、自宅風呂で妻の一部介助により1日おきに入浴している。 ●寝返り・起き上がり ・何かにつかまっでの自立 ●衣服の着脱 ・準備を手伝い、一部介助 ●洗面・歯磨き ・自立 ●トイレ ・自立 ●入浴 ・介助 (現在の自宅浴室では入浴するために工夫はしているものの不安定) ●杖で自立 ●歩行 ●移動 <ul style="list-style-type: none"> 屋内 ・杖で自立 屋外 ・電動車いすと杖で自立 ●移乗 ・自立 ●調理・食事 ・調理は不可、食事は自立 ●家事 ・不可
---	--

現地調査



1階間取図



改修チームスタッフ
現地調査



家族から普段の生活状況を聞く



本人の移動状況を見る

既存家屋の概要

建築年	昭和55年
階・建	木造2階建
工事範囲面積	浴室、台所、居間 46.4㎡
所有形態	自己所有

住宅改修支援の流れ（スケジュール）

年月日	本人・家族の状況		住宅改修チームの支援内容と動き		
	状況	内容・要望	住宅改修支援チームの動き		内容
平成11年 12月24日	<ul style="list-style-type: none"> ○本人は現在杖を利用しての歩行で住居内は移動しているが、居室の空間が狭く、本人が身動きするのがやっとの状態 ○リハビリ週2回（病院）を利用 ○妻の状況は昭和63年に大腸の手術を受けており、年1回の定期検診を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○妻の介護負担がかなり大きく、妻の健康に不安がある。 ○改修工事への要望 <ul style="list-style-type: none"> ①居間を広くしたい。 ②浴室のバリアフリー化。 ③段差解消と手すり取付。 ④台所を広くしたい。 	事前現地訪問調査	ケアマネ 施工業者 建築士 コンサル	<ul style="list-style-type: none"> ・身体、ADL、介護状況等確認 ・本人・家族の要望確認 ・住宅、移動状況の確認
平成12年 2月13日	<ul style="list-style-type: none"> ○改修プランについての話し合い（何度かの話し合いを持つ） 16日 ○最終改修プランについての話し合い ○本人は自分自身の身体機能の衰えと、病気の再発、妻の健康状態が心配 ○予算については、台所部分の改修をメインに居室の増築も含めるので、おおよそ500万円位になる見通しで、了解した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家族の意見 <ul style="list-style-type: none"> ①家から堤防まで散歩したい。玄関の段差解消。特にホール～玄関、玄関～外部の出入り方法。 ②入浴時の浴槽への出入りについては、手すりを設置。連続した手すりや、要所に手すり設置。 ③ローカの手すりに関して、ローカ有効巾が確保できないと危険。 ④妻がシステムキッチンを取り入れることがずっと前からの夢であったらしく、普通のキッチンを強く望んだ。 	改修プラン打ち合わせ ↓ 改修プラン検討会 ↓ ○P.Tは、本人のリハビリに関わっている担当で、事前に自宅を訪問し現状を把握している。	施工業者 建築士 行政(町) ケアマネ P.T 建築士 施工業者 コンサル	<ul style="list-style-type: none"> ・改修プランの打ち合わせ ・予算等についての確認 ・改修プランの検討 <ul style="list-style-type: none"> ①玄関の上がり框部分で一度ベンチに座って靴を着脱し、手すりをつかんで起立動作を行えるような工夫。 ②取り付け位置に関しては、詳細に取り付け位置をアドバイス。 ③2番目に要望が強かったキッチン、車椅子でも使用できるように改造するための計画も踏まえた上で、普通タイプを採用。
3月1日	<ul style="list-style-type: none"> ○最終改修プラン説明 ○採用キッチンセットについては、ショールームでキッチンの機種を決定。 		最終改修プラン説明	施工業者 建築士 コンサル	<ul style="list-style-type: none"> ・最終改修プラン及び工事費用の説明 ・前回提案した玄関のベンチと手すりについては、実際にシミュレーションし決定。 ・今回の改造がきっかけで介護認定の申請をし、介護度が決定。
14日	○工事請負契約書		○工事請負契約書	施工業者	
4月1日	○着工			施工業者	・工事写真
19日	<ul style="list-style-type: none"> ○3月の末に建築確認が許可。着工遅れた。 ○外部工事は塗装工事を除いておおよそ完了。 ○離れた物置に仮設流し台を設置されているのでせっかく作っても冷めてしまい、なんだか総菜を買って食べている気分。 	<ul style="list-style-type: none"> ○工事途中で家族から出された新たな要望 ・既存食器戸棚は部分的に補修して使用したい。 	改修チーム工事進捗状況確認	施工業者 建築士 コンサル	<ul style="list-style-type: none"> ・改修プランの変更の有無確認。 ・手すりの位置については、本人が立会いのもとにモニタリングしてからの固定
5月2日	○完成			施工業者 コンサル	・完成写真
12月13日			完成確認	行政(県) コンサル	<ul style="list-style-type: none"> ・工事完成確認 ・改修後の使用状態確認

改修プラン



トイレ
病気になる前にここ
だけ改修していた



改修前 浴室
浴槽の出入りに手すりが
欲しい。シャワー水栓のつ
まみが、ツーバルブで面倒。



改修後 浴室
浴槽の奥の壁にし型手す
りを取付。浴槽の脇に腰掛
け台を設置。
シャワー水栓をサーモ
スタット付シングルレバー水
栓に取替えた。



改修前 浴室
出入口に手すりが欲し
い。



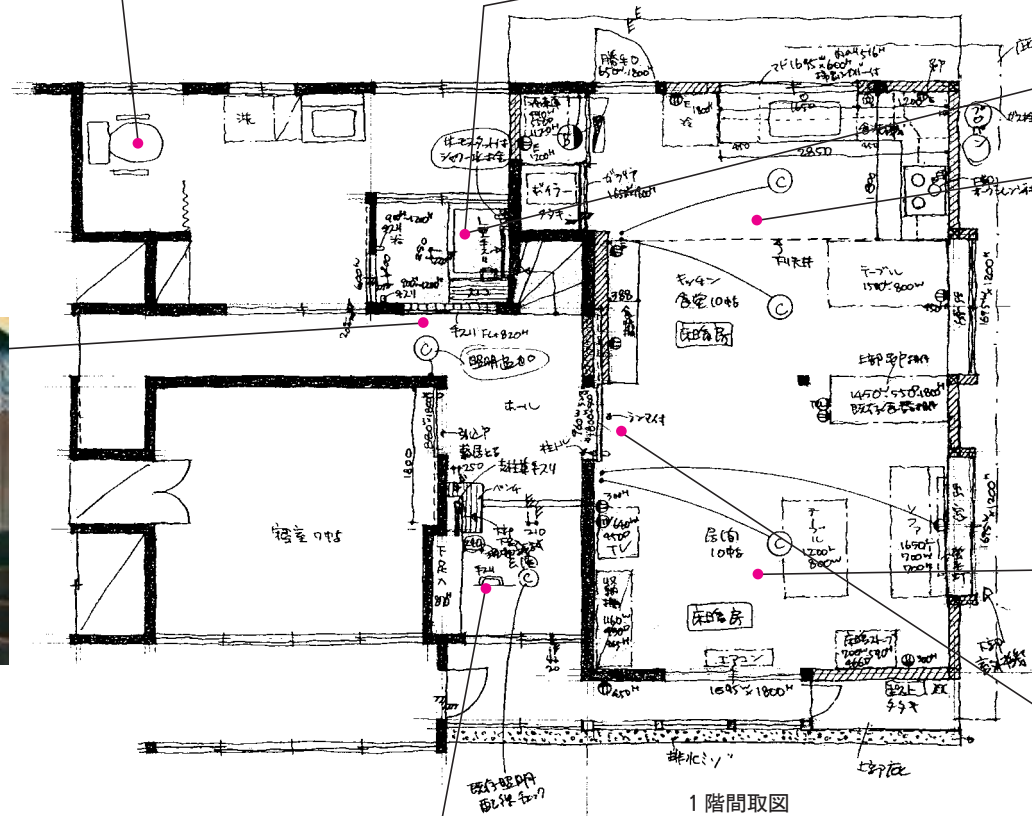
改修後 浴室
出入口の両サイドに手す
りを取付。



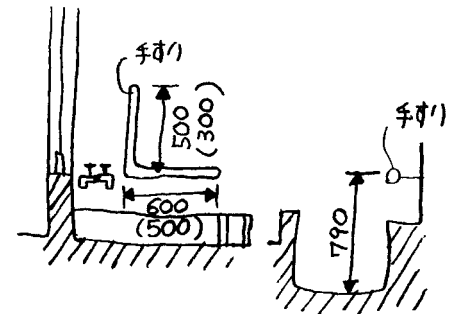
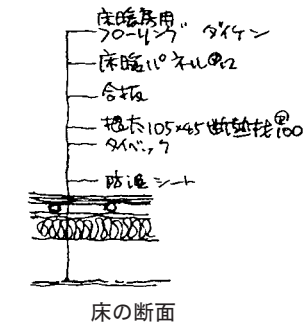
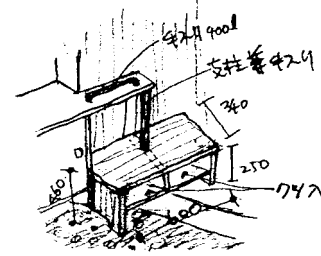
改修前 キッチン
4.5帖の狭いところに物
がたくさんあるので動き
もできない。
流し台は、大工事で造っ
た古いものなので傷んで
きている。



改修後 キッチン・食堂
キッチンと居間の間仕切を取除き、東
側に1間伸ばしてテーブルでゆっくり食
事をとれるようにした。
流し台は、妻の夢だったメーカーのシ
ステムキッチンを採用。吊戸棚が低くな
った上、毎日の食器は、ここに全て収納さ
れたので動きがかなり楽になった。



改修後 廊下
つえと同じ高さに手すり
を取付。天井に照明を取付
て足元を明るくした。



打合わせでPTよりアドバイス
された浴室の手すりの取手



改修前 玄関
靴の着脱は、上櫃に座っ
て行っていた。



改修後 玄関
靴の着脱が楽にできるよ
う腰掛けを製作。
壁に手すりを取付。



改修前 居間
キッチン・居間に入る狭
いところにドアが3ヶ所も
あり、左半身不随でのつえ
歩行の移動は大変。



改修後 食堂・居間
キッチン・居間をワンル
ームにし、ドアを車イスでも
通行可能な幅970cmの引戸
にした。



改修後 食堂・居間
キッチンと居間の間仕切を取除き、東
側に1間広げた。20帖のワンルームに
なり、大きなテーブルで楽に食事をと
ることができ、食後もゆったりくつろぐこ
とができるようになった。

住宅改修費		福祉用具導入
総工事費	6,237,000円	○手すり
自己資金	5,237,000円	
公的資金	1,000,000円 (事業協力金)	
介護保険	利用なし。	
その他		

改修案の整理（福祉用具含む）

区分	課題（ニーズ）	目標	改修等内容	改修効果	課題
玄関	<ul style="list-style-type: none"> 外に出るためには一度床に座らなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> 外に出る動作をもっと安全に、スムーズに出られるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存シューズボックスを利用し、<u>造り付ベンチ及び手すり</u>を取り付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ベンチに腰掛けるので、<u>しゃがみ込みが楽</u>。 手すりがあるので、靴を履くのに<u>バランスを崩さず安心して履ける</u>。 <u>立ち上がり</u>が楽。 	<ul style="list-style-type: none"> 上がり框の段差はそのままなので、将来は固定式の踏み台も考える必要がある。
居間	<ul style="list-style-type: none"> スペースが狭すぎて、身動きできない。 将来車椅子を使用するようになっても自在に移動したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 広く、暖かく、車椅子を操作しやすいスペース確保。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>2坪増築</u> <u>外部開口部2重サッシ化</u>。 断熱工事。 居間との出入口引き戸取替え。 <u>床暖房設備</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> 広がったことと、壁が明るくなったのでとても<u>広々と感じる</u>。 <u>何よりも暖かいことが最高</u>。 	
台所・食堂	<ul style="list-style-type: none"> スペースが狭すぎて、身動きできない。 将来車椅子を使用するようになっても自在に移動したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 広く、暖かく、車椅子を操作しやすいスペース確保。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>2坪増築</u> <u>床段差解消</u>の上、合板フローアー張り変え（床下断熱材敷き込み）。 居間～食堂間建具取替え。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>つまずかなくなった</u>。 何よりも暖かいことが最高。 キッチンが機能的になったので、料理を作ることが楽しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来妻が車椅子を使用することになったとき、キッチンは車椅子で使用できるのか？また、改修で使えるような工夫を考える必要があるのでは？
寝室	<ul style="list-style-type: none"> 出入口扉の敷居に段差あり。 将来車椅子を使用するようになっても自在に移動したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子を使用しても移動が出来るような出入口にした 	<ul style="list-style-type: none"> 床敷居撤去し、<u>段差解消</u> 	<ul style="list-style-type: none"> <u>麻痺側がつまずかなくなった</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子対応を考えるならば、出入口の位置について、トイレ側を間仕切壁を撤去し、新たな出入口を考える方法もある。
廊下	<ul style="list-style-type: none"> 居間からトイレへ移動する場合、現在は杖を使用しているが、もっと安全に移動したい。 	<ul style="list-style-type: none"> もっと安全に移動したい。（車椅子で移動する場合） 	<ul style="list-style-type: none"> 階段室脇壁に<u>手すり取り付け</u>。（ガラスブロックの納まっている壁凹み部分を利用して） 	<ul style="list-style-type: none"> 780mmの有効巾を狭めることなく手すりが取り付けられたので、ローカの広さは変わらず、<u>移動の安心感が増した</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> ローカの広さは大々的に解体しなければ広げることにはできないが、寝室と接した使い方をすれば、有効な生活空間になる。
浴室	<ul style="list-style-type: none"> 脱衣室から浴室の床までの段差が大きく、浴槽の縁の高さも低すぎて使いづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しの手助けで自分で体を洗いたい。 家族への介護負担を軽減したい。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>手すり取り付け</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 妻の<u>介助負担も軽減</u>できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 浴室の位置そのものを変更し、もっと明るく広いバリアフリー仕様の浴室を。

本人・家族の感想

- 暖かくて最高。県の事業が無ければここまでできなかったと思う。
- キッチンが機能的になったのでとても食事の支度が楽になったし、楽しくなった。
- 広くなったらTVが見づらなくなったかな、ハッハッハッ。(遠くなった)
- 風呂の手すりがとても便利です。
- 以前かかりつけの脳研でもアドバイスをしてくれていたが、実際はなかなかできることではないと思う。
- 玄関の手すりベンチ取り付けは良かった。
- 30年前の食器棚を再利用してもらった。思い出がたくさん詰まっていた壊してしまうのがもったいないと思い、お願いしたら意外に変じゃなかった。使い慣れたものなので新しいものとは比べ物にならない。
- 使ってみて不便なところは無い。
- 本当ならもっと早く取り掛かりたかったが、1人では少し面倒なところもあり、でも今回選ばれて思いがけなくこんなに良くなって感謝している。
- 息子たちは経済的に協力できる状態ではないが、家に帰ってきた時に「良かったな」といつてくれた。

家族へのアドバイス

前面町道まで30m程距離があるため、道路までの除雪に関しては不安が大きい。町の除雪ボランティア等の協力により、支援してもらうことになる。

改修後のフォロー

- 介護保険の申請について再度説明をした上で、本人のためにも、妻のためにも、介護認定を受けておくことにより、もしもの時に安心して自宅での自立した生活を継続していくための在宅サービスを利用していくことができることを理解してもらう。
- 改修後のフォローに関してはほぼ要望どおりではあるものの、キッチンセットに関しては車椅子仕様にはなっていない。妻の希望もあって、今回普通の仕様になったが、この後妻がキッチンに立てなくなった時、車椅子での使用になったとき、今回のキッチンセットをどう工夫して改修するのか今から考えておく必要はある。



工事完成状況確認
(改修スタッフ)

改修チームからのコメント

ケアマネージャーから

在宅介護を支える上で住宅は基盤のひとつです。ご夫婦は信頼し合い、支えあいながらの毎日を送っていますが、今後、予想されるリスクに対して、安全かつ快適な生活が送れるよう将来を見据えての住宅リフォームでした。

計画段階ではご夫婦、設計士、建築業者、PT等が知恵を出し合い、情報交換しながら方針が決定されたのですが、建築・医療関係者との連携システムの重要性を再認識すると共に福祉職の立場にある自分にとっても貴重な学習の機会となりました。

まだ、介護サービスは利用されていないケースですが、支援センターの役割としてご本人と介護者の状況を見守りながら、必要に応じてよりの確なサービスを提供することによって、ご夫婦が望む在宅生活の継続が一層可能になると考えています。

施工業者から

最初は、住宅改修する人達が先行して本人があまり心を開いてくれなかったように思う。関係ない人達に自分達の生活を知られたくないという自然な気持ちだと思う。

工事については本のようにはいかなかった、これも一人一人が違うから当たり前的事だろうと思う。それが勉強になってよかった。

建築士から

設計・施工サイドだけで工事する場合、障害者の身体の状態をどれだけ把握できるか、心配な面があります。今回のように福祉や医療関係者も参加していただくと、今、どんなサポートが必要か、又、今後どう変化していくか、自立して生活していくために何が必要かなど、限られた予算で将来のことも見据えた適確な改修ができて安心です。